

大淀中学校だより 『成』

元気があれば何でもできる！

第 8 号
京都市立大淀中学校
令和 3 年 7 月 20 日
文責 油谷

明日から夏休み 規則正しい生活を！ ～終業式 校長の話～

4月6日にスタートした令和3年度1学期も本日で終了します。生徒の皆さんにとってはこの1学期どうでしたか？昨年度に続いてコロナ禍の中の学校生活。様々な制約の中、皆さんは前向きに本当によく頑張ってくれたと思います。夏休みに入っても、コロナ対策はもちろん、熱中症や交通事故、水の事故などに気をつけながら、目標を持って夏休みを過ごしてもらいたいと思います。

本日の終業式では2つの話をしました。

1つは和尚さんと3人の弟子達の話。2つめは大谷翔平選手の思考回路についての話です。

あるお寺に和尚さんと3人の弟子達、つまり小坊主がいました。

ある日、お寺の本堂に雨漏りがありました。それを見つけた瞬間、一番下の小坊主が、床が濡れないようにさっとあるものを差し出しました。すると2人の先輩坊主達は大笑い。何を差し出したかという「ざる」だったんですね。当然、雨漏りを防ぐことはできず、雨は床に落ちていきました。先輩坊主達は『何やってんだよ。「ざる」じゃ雨漏りは防げないじゃないか』と馬鹿にします。

するとそれを見ていた和尚さんは、「ざる」を差し出した一番下の坊主には温かい眼差しを注ぎ、二人の兄弟子達には厳しい眼差しを注がれました。皆さん、これわかりますか？

和尚さんは3人を集めこう言いました。『いいか、一番下の坊主はな、雨漏りを発見してすぐに行動した。そばにあった「ざる」を差し出した。もちろん、「ざる」では雨はすくえない。しかしそれは結果じゃ。ワシはな、まず行動をしたこと。これを大事に思うのじゃ。それに引き替え、おまえ達二人はそれを笑い、非難した。そんなことは誰でもできることじゃ。だから何でもやってみる事じゃ。そういうことの積み重ねが成功を生んでいくのじゃぞ。わかったか』

こんなお話でした。特に3年生は最後の大会の時に、悔いのないように飛び込んでみる、やってみる勇気をこの話から感じてくれたら嬉しいですし、皆さんそれぞれが自分のことに置き換えて見たら、今後の何かのヒントになると思います。

2つめのお話は今をときめくメジャーリーガー大谷翔平選手のお話です。

大谷選手がアメリカメジャーリーグで大活躍していることは多くの人が知っていると思います。先日もグラウンドのゴミをそっと拾ってポケットにしまう姿がニュースになっていましたが、今日は大谷選手の考え方から皆さんのヒントになればと思い、紹介したいと思います。大谷選手は高校1年生の時からすでに「プロ野球8球団からドラフト1位指名を受ける」という大きな目標を立てていました。そしてそのために必要なことを8つ考えました。その8つの中のひとつに「運」をあげています。さらに「運」をあげるためにまた8つのことを考えたのです。今日はその運を挙げるための8つを皆さんに紹介しますね。

「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋掃除」「道具を大切に扱う」「審判さんへの態度」「プラス思考」「応援される人間になる」「本を読む」まさにそれをひとつひとつ実践しているのですね。先生はその中でも「応援される人間になる」というものが一番心に残りました。仲間から応援してもらえるようになるって本当に難しいことです。口で言うほど簡単なものではない。でも自分が目標を掲げ、それに向かっていくとき、結果だけ求めるのではなく、自分磨きをし、努力し、成長し続けることで、人は人を応援しようとするのではないのでしょうか。暑い夏、しっかりと乗り切り、一回り大きくなって元気に2学期を迎えましょう。

各学年球技大会が行われました（7/13・15・16）



短縮期間になり、各学年球技大会を開催しました。育成学級の皆さんは各交流学級にて参加しました。3年生は暑い中のグラウンド、1・2年生は体育館で行いました。どの学年も各クラスがしっかりと団結し、一生懸命プレイしました。結果も大事ですが、みんなが楽しんでくれたことが何よりだったと思います。優勝・準優勝クラスには賞状が学年主任より渡されましたが、その内容も素敵でした。

「クラスの団結力を大いに発揮し頭書の成績を収められました。最後まで勝利を目指してクラス全員でプレーする姿は『大淀スピリット』を見事に体現し多くの感動を与えてくれました。その健闘と栄誉を称えこれを賞し

ます」と書かれていました。この中に出てくる『大淀スピリット』とはいつもことあるごとにお話していますが、『明朗・公正で卑屈でなく、やり出したら最後までやり抜く』というものです。まさにそんなことを感じさせてくれる素晴らしい大会であったと思います。体育委員の皆さんも本当にお疲れ様でした。みんなよく頑張ったね。

2年生総合学習講演会（7/14）

2年生は総合学習で取り組んだバザーについて5月にもオンラインでアドバイスをいただいた平野雅之さんにご来校いただきました。

社会の中で大切なことや、商売を進める中でどの様にすれば良いかという質問に対してお答えをいただいたりしました。平野さんは現在、会社の社長さんをされていますが、いくつもの会社を掛け持ちされています。これまでの豊富な人生経験の中で、今回2年生が取り組んだバザーのような企画で商品を扱うために必要な考え方、どうすれば利益を生むことができるかなどを、子ども達のために本当にひとつひとつ丁寧にご話して下さいました。お話の最後には数々の名言をお話しして下さいました。「比べるべきものは過去の自分」「減点法ではなく加点法」「自分には関係ないと思った瞬間に（心に）入ってこなくなる。自分に関係あると思った瞬間に（心に）入ってくる」「できなかったことにフォーカスするのではなく、できることにフォーカスする」「できていないことに目を向けるよりできたことを喜ぼう」「SOS（そう思ったならそう）」「私なんてではなく、自分だからこそに」「時間は作るもの」「知っているよりも、やったことのある人生を」「やめない限り 成功はある」数々の名言がありました。あっという間の時間、本当に貴重で楽しいひとときになりました。



1・2年生ケータイ教室（7/9・15）

7月9日（金）2年生、15日（木）1年生がそれぞれケータイの使い方について学習を深めました。2年生は栗山先生、1年生は教育委員会生徒指導課の坂本先生に講師をお願いしました。スマホ（ネット）のリスクを知り、正しい使い方を考えるというテーマで、スマホでのリスクはどんなものがあるか？中でもプライバシーの流出、画像の拡散、SNS・無料通話アプリによるいじめや炎上等について絞った内容となりました。特にLINEについては大変便利なツールであるのですが、同時に様々なトラブルが発生してきたこともあります。人それぞれ受け止め方も違いますし、価値観も違う中、簡単にアップした物がどんな形で広がっていくか分からないことや、一度拡散してしまった物は二度と消えないこともある。そんな怖さをきちんと理解する必要があることを丁寧に教えて下さいました。



3年生薬物乱用防止教室（7/16）



3年生は薬物乱用防止教室を行いました。講師は京都府警本部少年サポートセンターの辻係長さんです。薬物乱用というと繰り返し違法薬物を使用していることと思う人も多いかと思いますが、一回の使用でもこれは「乱用」です。そしてその一度だけの過ちが自分の人生を大きく狂わせてしまうこととなります。繰り返し繰り返しお話しになったのは「脳への影響」です。薬物を乱用することで脳が傷つくこと。そして傷ついて脳は元には戻らないこと。いつ何時、身の回りで、こういう違法薬物の誘いがあるかもしれない場合に、しっかりと自分で判断すること。夏休み前に、しっかりと理解したい内容でした。

部活動 選手権大会（結果はホームページにて）



3年生にとっては最後の大会となる選手権大会が開幕しています。7月10日は女子ソフトテニス個人戦、11日はサッカー、17日は男女バスケットボール、18日は女子バドミントン、男女バスケットボールの試合が行われました。やはり最後の大会となると、見ている方も力が入ります。惜しくも敗れたサッカー部はPK戦でしたが、手に汗握る緊張感がありました。女子ソフトテニスでは1ペアが全市大会、女子バドミントン団体・個人も全市大会、男子バスケットボール部はベスト16にコマを進めました。明日からは女子バレーボール部、男女ソフトテニス団体戦も登場します。柔道や剣道の個人戦もあります。ひとつでも多く勝ち上がってほしいです。なお、吹奏楽コンクールは8月5日に京都コンサートホールで行われます。



